三　その他の土木費	密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\frac{(B+C)\times 0.725}{A}$ 算式の符号 ［略］ B　次の算式によって算定した額 算式 $\sum_{n=4}^{7}\{A_n\times(1-C_n/B_n)+D_n\times(1-F_n/E_n)\}$ $A_n\times(1-C_n/B_n)$ 及び $D_n\times(1-F_n/E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［略］
四　小学校費	児童数 1　密度補正Ⅰに用いる密度は、スクールバス等の数に一三三・四〇を乗じて得た数を当該市町村の測定単位の数値で除して得た数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 ［2～4　略］ 算式 $\frac{1}{45{,}000\times A}\times(445\times A+127{,}016\times B+668\times C)$ 算式の符号 ［略］ B　当該市町村における「被保護者調査」によって厚生労働省に報告された令和３年７月31日現在の「第５表教育扶助受給人員」のうち小学校及び義務教育学校の前期課程に係る数 C　当該市町村における「令和３年度学校給食実施状況等調査」によって文部科学省に報告された小学校及び義務教育学校の前期課程の完全給食実施校に在籍する児童数、補食給食実施校に在籍する児童数及びミルク給食実施校に在籍する児童数を合算した数

三　その他の土木費	密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\frac{(B+C)\times 0.699}{A}$ 算式の符号 ［同左］ B　次の算式によって算定した額 算式 $\sum_{n=3}^{7}\{A_n\times(1-C_n/B_n)+D_n\times(1-F_n/E_n)\}$ $A_n\times(1-C_n/B_n)$ 及び $D_n\times(1-F_n/E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［同左］
四　小学校費	児童数 1　密度補正Ⅰに用いる密度は、スクールバス等の数に一三三・七六を乗じて得た数を当該市町村の測定単位の数値で除して得た数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 ［2～4　同上］ 算式 $\frac{1}{44{,}500\times A}\times(441\times A+116{,}739\times B+648\times C)$ 算式の符号 ［同左］ B　当該市町村における「被保護者調査」によって厚生労働省に報告された令和２年７月31日現在の「第５表教育扶助受給人員」のうち小学校及び義務教育学校の前期課程に係る数 C　当該市町村における「平成30年度学校給食実施状況等調査」によって文部科学省に報告された小学校及び義務教育学校の前期課程の完全給食を受けた児童数、補食給食を受けた児童数及びミルク給食を受けた児童数を合算した数